



Scales: 2 cm

Common Useful Seaweeds of Ryukyu Islands, southern Japan
 @2009 Japanese Society of Phycology

南西諸島の主な有用海藻

南西諸島は種子島から与那国島に至る弧状の島嶼圏であり、約150万人の人々が暮らしている。この地域での海藻利用は、熱帯・亜熱帯性種中心の海藻植生や食文化の歴史的背景から、日本本土と異なる点が多い。ここでは、食用等で利用される代表的な15種を掲載した。

ヒトエグサ(写真1)は全国的に佃煮の原料とされるが、鹿児島や沖縄では汁物の具としての利用が一般的である。クビレズタ(写真2)は元々八重山地方で地域内消費される海藻だったが、養殖技術の確立と普及指導によって広く利用されるようになった。ヤセガタモツレミル(写真3)やモツレミルは「ビン(与論島)」などと呼ばれ、沖縄島北部や与論島で食用に採取される。オキナワモズク(写真4)は「スノリ(奄美大島)」や「スヌイ(沖縄島)」と呼ばれるが、鹿児島・沖縄両県の試験研究と普及指導によって一大養殖業へと発展した。ヒジキ(写真5)は沖縄島南部の中城湾周辺で見られ、3月から4月にかけて採取される。一般にヒジキの葉は紡錘形だが、沖縄島や鹿児島湾の個体群は葉状を呈する点で異なる。本種は奄美群島で見られず、隔離個体群が沖縄島にあることも興味深い。アマノリ属海藻は温帯・亜寒帯域に広く分布するが、熱帯・亜熱帯域にも見られる。ツクシアマノリ(写真6)は南西諸島各地に分布し、奄美大島等で採取される。また、タネガシアマノリやオニアマノリ、マルバアマノリが種子島や屋久島で採取されており、汁物の具として用いられる。ハナフノリ(写真7)はマフノリ、フクロフ

ノリと共に奄美大島で採取されるが、以前は大島紬の糊材として利用されていた。イバラノリ属海藻は沖縄で「モーイ」と呼ばれるが、ホシガタイバラ(写真8)など複数の種を含む。寒天状にして食する「モーイ豆腐」が有名である。キリンサイ類はカタメンキリンサイ(写真9)やキリンサイ(写真10)、トゲキリンサイ(写真11)が採取され、「ウルス(宮古島)」や「イギス豆腐(奄美群島)」の名前で利用される。オゴノリ類も冬から春にかけて各地で採取されており、ユミガタオゴノリ(写真12)やクビレオゴノリ(写真13)を海藻サラダや酢味噌和え、寒天にして食する。

南西諸島では海藻を薬としても利用する。ハナヤナギ(写真14)はドウモイ酸を含有することから駆虫剤として利用されたが、現在は一般に採取されていない。マクリ(写真15)はカイニン酸を含有し、ハナヤナギと同様に駆虫剤として利用された。通常は煎じて飲むが、雑炊や汁物にして食べることもあった。マクリの方は現在でも採取され、「海人草^{かいにんそう}」や「ナチョーラ」の名前で販売されている。

上記以外でも、フタエモクやハバノリ等、様々な海藻が各地で利用されている。しかし、海藻を地域で採取・利用する文化は、ヒトエグサやオキナワモズク等の産業規模の大きな種類を除き、現代的な食材への嗜好の変化等で急速に失われつつある。

(鹿児島大学水産学部 寺田竜太)



1. *Monostroma nitidum* Wittrock ヒトエグサ (沖縄県本部町, 生態写真)
2. *Caulerpa lentillifera* J. Agardh クビレズタ (鹿児島県中種子町, 生態写真)
3. *Codium repens* Crouan frat. in Vickers ヤセガタモツレミル(鹿児島県知名町, 生態写真)
4. *Cladosiphon okamuranus* Tokida オキナワモズク (鹿児島県天城町, 生態写真)
5. *Sargassum fusiforme* (Harvey) Setchell ヒジキ (沖縄県与那原町, 生態写真)
6. *Porphyra yamadae* Yoshida ツクシアマノリ (鹿児島県泊町, 生態写真)
7. *Gloiopeltis complanata* (Harvey) Yamada ハナフノリ (鹿児島県屋久島町, 生態写真)
8. *Hypnea cornuta* (Kützting) J. Agardh ホシガタイバラ (沖縄県本部町, 生態写真)
9. *Betaphycus gelatinus* (Esper) Doty ex Silva カタメンキリンサイ (沖縄県石垣市, 生態写真)
10. *Euचेuma denticulatum* (Burman) Collins et Hervey キリンサイ (鹿児島県徳之島町, 生材料)
11. *Euचेuma serra* (J. Agardh) J. Agardh トゲキリンサイ (鹿児島県南大隅町, 生態写真)
12. *Gracilaria arcuata* Zanardini ユミガタオゴノリ (鹿児島県瀬戸内町, 生態写真)
13. *Gracilaria blodgettii* Harvey クビレオゴノリ (沖縄県金武町, 生材料)
14. *Chondria armata* (Kützting) Okamura ハナヤナギ (鹿児島県屋久島町, 生態写真)
15. *Digenea simplex* (Wulfen) C. Agardh マクリ (沖縄県石垣市, 生態写真)

写真撮影者

写真1～4, 6～15: 寺田竜太

写真5: 新井章吾

標本は鹿児島大学水産学部所蔵